

<白金標準先物、新甫 4 月限は発会から買い妙味あり・・・>



(出所：オアシス)

IMF が 2022 年世界経済成長率見通し 3.6%へ下方修正するなどウクライナ情勢を受けた景気減速を示唆され、また中国上海市の感染拡大を受けたロックダウンも 4 週間続くなど、中国経済にも悪影響を与えている。週末は英国の小売売上高が事前予想の 0.3%を大幅に下回る 1.4%減となるなど、中国や欧州市場の景気減速懸念を受け白金標準先物は 4180 円から 3787 円まで下値を試している。特に欧州や中国は、白金需要の自動車触媒や宝飾などを占めており、需要後退懸念で価格の戻りを抑えられる可能性は高い。

しかしウクライナ情勢を機に、PGM の需給関連はロシア産を削除する動きが強まり、南アフリカ産の PGM の引き合いが強まる状況になると予想される中で、現在南アフリカのプラチナ鉱山では 3 年ぶりの賃金交渉が開始され、また電力問題でも発電能力が低下し鉱山の電力停止を伴う「ステージ 4」の電力制限処置の懸念も高い。また白金標準先物は 26 日に新甫 4 月限の発会を控え、一代棒で示す 2 月限が試した高値 4310 円に向けて高値追いを行って来る値動きが予想されるなど、新甫 4 月限は買い妙味ありの限月と予想され、先週末の安値 3787 円以下は新規買いが妥当と思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下がりながら、**シグナル**を下回り、RCI でも**短期**が下げながら**長期**を下回るなど、弱気を示唆するテクニカルとなる。ただ下げ止まりを示す **200 日移動平均線**で日足の抵抗が予想され、下値は限定的な値動きが予想され、新甫 4 月限は強気の対応が妥当と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,101,000 円(2022 年 4 月 25 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 37,620 円(2022 年 4 月 25 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>